

コロナ禍における 待機留学生と日本語教育機関の 現状について

(2022年3月4日)

日本語教育機関関係6団体

(一財)日本語教育振興協会

(一社)全国日本語学校連合会

(一社)日本語学校ネットワーク

全国専門学校日本語教育協会

(一社)全国各種学校日本語教育協会

(一社)全日本学校法人日本語教育協議会

日本語教育の果たしている役割

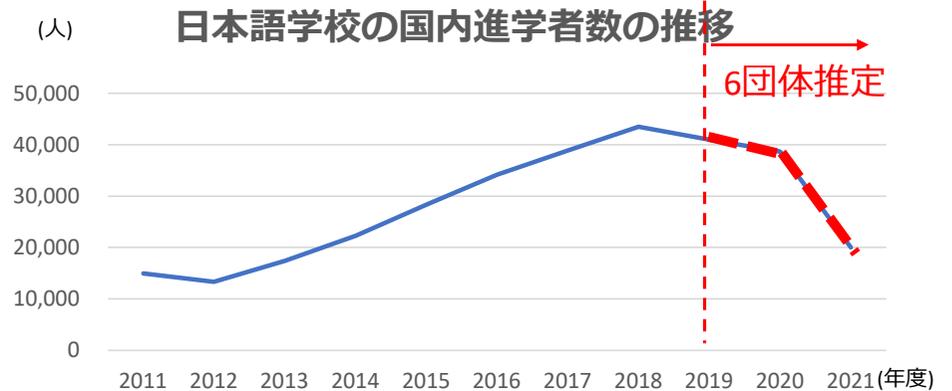
日本語教育機関 = 日本語教育専門機関 = 日本語教育の中核
※日本社会への適応教育も担う



多文化共生社会の実現に不可欠な
日本語教育のインフラが崩壊

大学、専門学校への進学

- ・**41,053人**（日本語学校の卒業生54,276人/年の約76%）の進学者が大幅減少
- ・2022年4月入学の学生から影響が顕在化

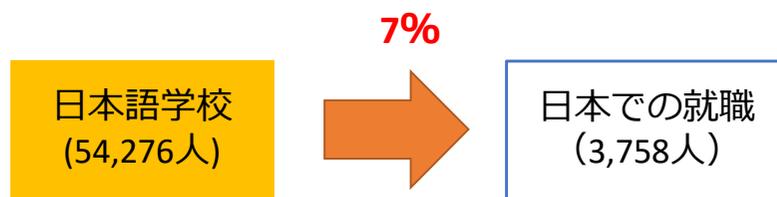


JASSO「2019年度 外国人留学生進路状況・学位授与状況調査結果」より作成

企業への就職

- ・**3,758人**（日本語学校の卒業生54,276人/年の約7%）の就職者が大幅減少
- ・**4-6年後に推定約15,200人/年**の外国人の就職者が大幅減少

（※日本語学校から大学、専門学校へ進学した41,053人の37%が日本で就職をしていることから推定。）

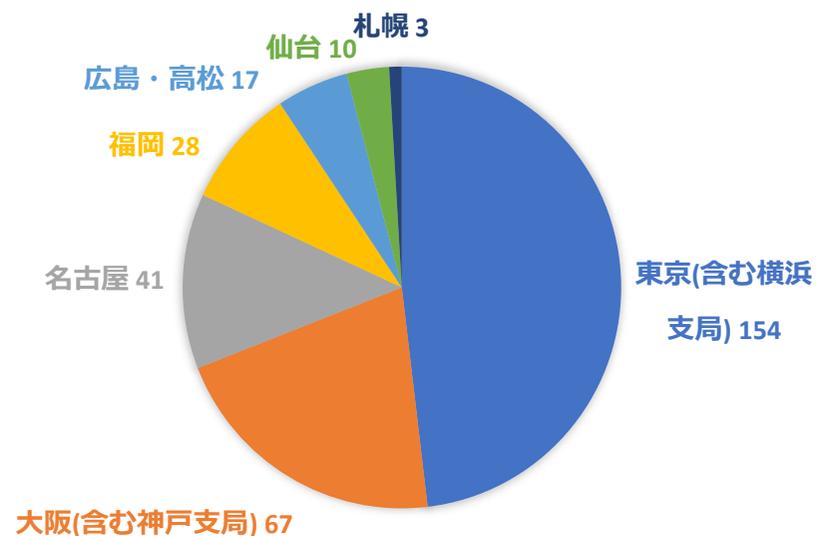


JASSO「2019年度外国人留学生進路状況・学位授与状況調査結果」より作成

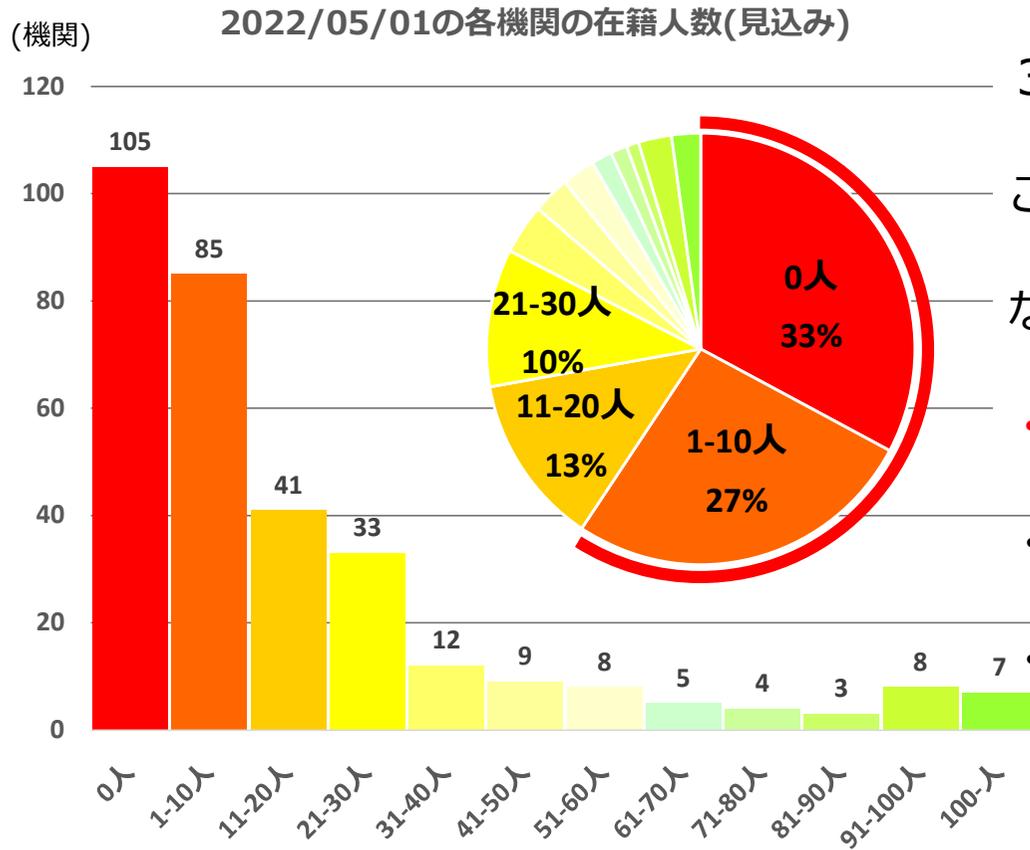
日本語教育機関関係6団体アンケート結果

入国制限の長期化により日本語教育機関の経営継続困難となっているため、日本語教育機関関係6団体(469機関加盟(2020/6時点))では、その実態調査(回答期間：2022/2/8-2/10)を行い、全国320校から回答を得た。

回答320校の管轄地方入管別分布



在籍者10人以下の機関が全体の60%に



3月に在籍者が卒業し、

このまま待機留学生在が速やかに入国でき

ないと、

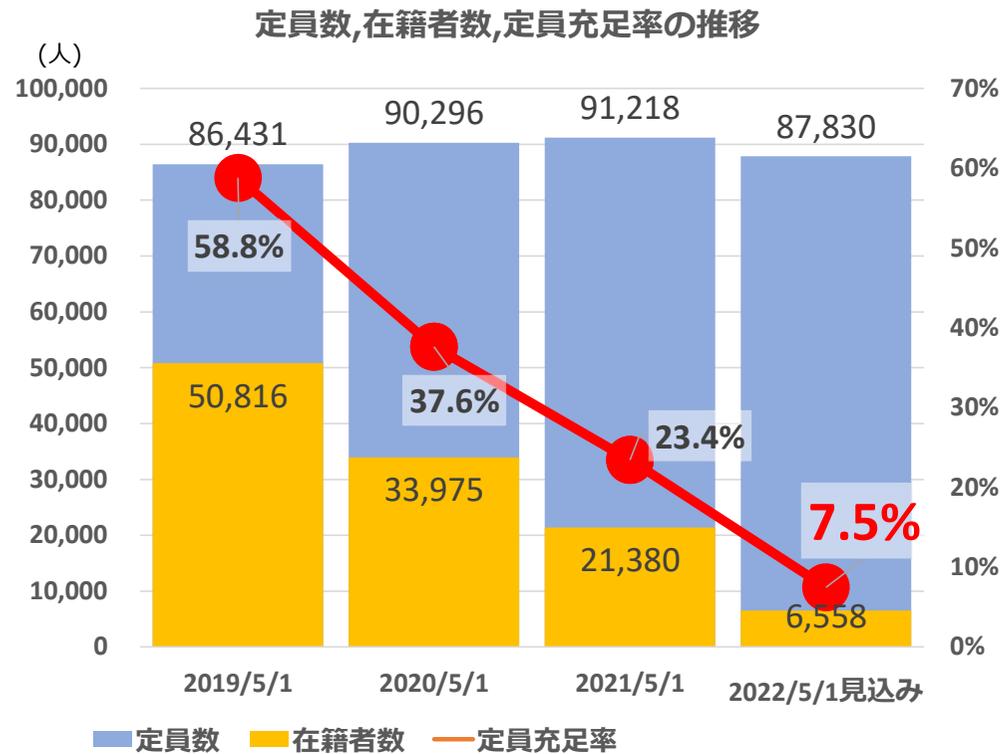
・ **在籍者10人以下の機関が60%(190校)**

・ **在籍者ゼロが33%(105校)**

・ **22%(70校)** はオンライン生もおらず

完全に在籍者ゼロ

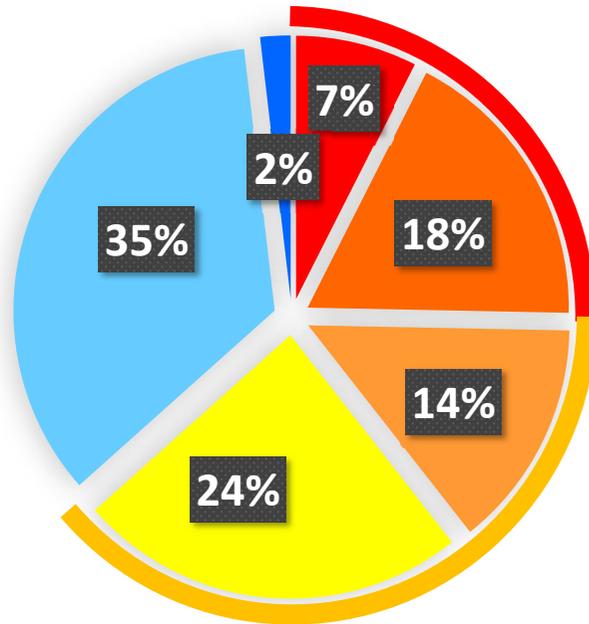
定員充足率も限界に



注：5/1のデータのため、7月期生、10月期生がカウントされていない。コロナ前の年度末の定員充足率は、20-30%高くなる。

- ・ **待機学生の受入れに備える**ため
ガラガラの校舎、寮を維持
- ・ 定員充足率は、1ケタ台
- ・ **固定費負担増**
- ・ 1クラス当たり **人件費コスト増**
- ・ **教育の質維持も限界に**

今後の事業継続



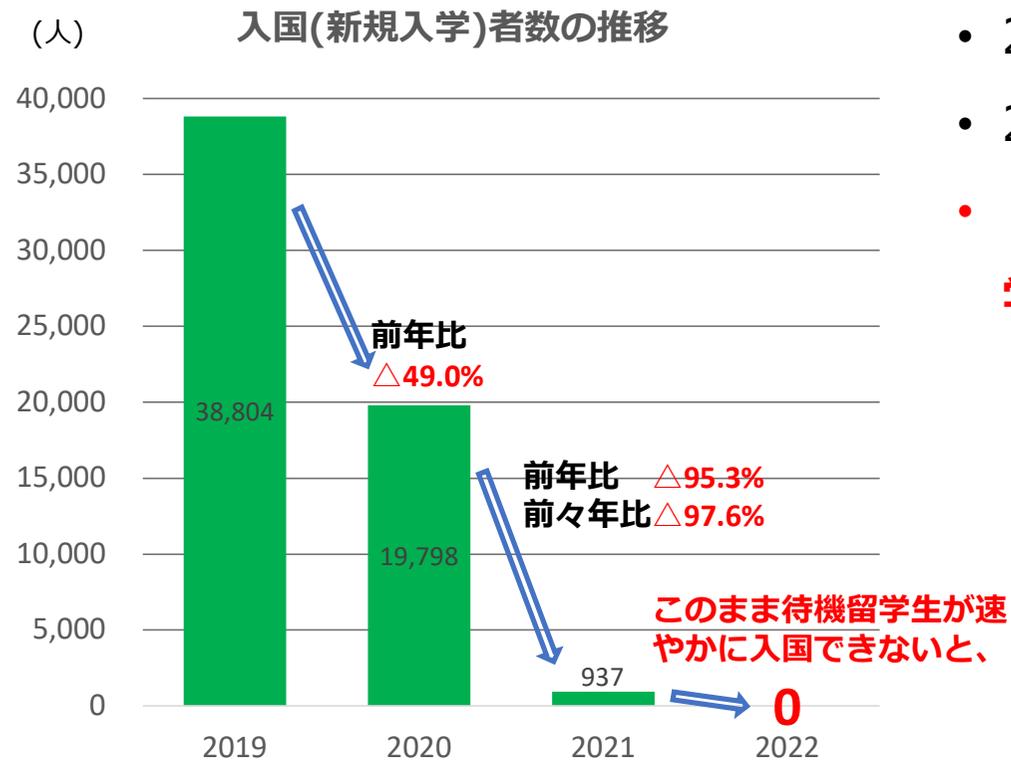
- すでに継続できない状態
- 今後3ヶ月以内には継続不能になる
- 今後6ヶ月以内には継続不能になる
- 今後1年以内には継続不能になる
- 苦しいが何とか継続できる
- 継続できる

- ・ 7%は、すでに事業継続不能
- ・ 3月に在校生が卒業=在籍者さらに激減
→ 25%の機関が破綻
→ 待機学生が大量に来日不能に
学費返金トラブル
→ 4割が6ヶ月以内に破綻、6割が6ヶ月～1年以内に破綻

《事業継続不能の理由》

- ・ 資金繰りがつかない 167件
- ・ コロナ禍で留学生募集のめどが立たない 110件
- ・ 事業の将来性が見込めない 73件

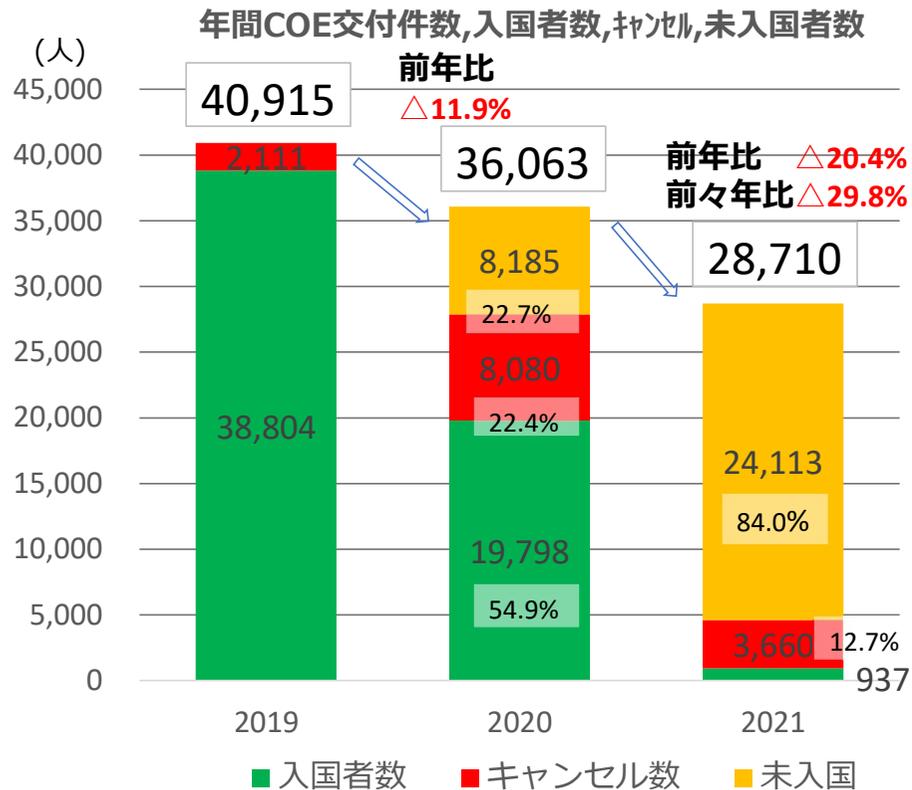
入国(新規入学)者数



- 2020年は、コロナ前と比較して半減
- 2021年は、**ほとんど入学者がいない**
- **1年以上（2021/1/21以降）全く入学者なし**

注：2021年は、1/1-1/20までは、一部の国（11か国）に限り入国可。

入学希望者減、キャンセル増、待機者増



注：2021年は、1/1-1/20までは、一部の国（11か国）に限り入国可。

・コロナによる**応募者減少**から



日本不信による応募者減少へ

・入学**キャンセル増加**

・待機学生の忍耐も限界(精神的経済的)

・進路変更、留学先変更

・一方、さらに、**入学待機者増加**

(2022/1生、2022/4月期生も積み上がる)

る)

待機留学生の声（1：精神的ダメージ）

- 「状況があまりにひどいので、何度も自殺を考えました。もし18歳に戻ることができるなら、18歳の私に『韓国語を勉強した方が良いよ』と伝えたい。留学先として韓国を選んだ友人たちはみんな自殺を考えずに人生を楽しんでおり、毎朝午前4時に起きても何の進歩もない私の人生とは大違いだからです。」

(国籍：United Kingdom、待機期間：between 6 months to 1 year、年齢：18-23歳)

- 「日本政府はいつも私たちに、ほんの少しの希望を与え、心を打ち砕きます。耐えられません。オンライン学習を続けながら、いつ入国停止措置が解除されるかを考えています。私だけではなく私の家族も、私が希望もなく1年以上も家に閉じ込もっているのを見て落ち込んでいます。」

(国籍：Sri Lanka、待機期間：between 1 year to 1 year and a half、年齢：24-29歳)

2021年1月「コロナ禍の日本留学の扉を開く会」アンケート調査より

待機留学生の声（２：身体的ダメージ）

- 「時差がある中、オンラインで日本語の授業を受けなくてはならず、一日中疲れを感じ、ストレスや疲れにより気を失ったこともあります。」
(国籍：France、待機期間： between 1 year and a half to 2 years、年齢：18-23歳)
- 「ストレスで眠れませんでした。午前12時頃にやっと眠れるようになりました。現在、母国時間の22:45から2:45までオンライン授業に参加しており、再び睡眠リズムが狂ってしまいました。」
(国籍：United States、待機期間： over 2 years、年齢：18-23歳)

2021年1月「コロナ禍の日本留学の扉を開く会」アンケート調査より

待機留学生の声（3：経済的ダメージ）

- 「入国停止措置の解除までどれくらい働けるかわからない、と面接で正直に伝えると仕事を得ることはできません。3ヶ月、6ヶ月、9ヶ月...どのくらいの期間働いてくれるかも分からない従業員を雇いたいなんて、誰も思いません。」
(国籍：United States over、待機期間：2 years、年齢：18-23歳)
- 「2021年4月に日本へ留学するため、3月に仕事を辞めました。しかし日本の入国制限により、入学は実現しませんでした。3月以降、月2200ユーロあった私の収入は0となってしまう、家賃が払えず、実家に戻らざるを得なくなりました。もう11ヶ月も待機していますが、留学への望みを失い、あきらめようと思っています。」
(国籍France、待機期間：between 6 months to 1 year、年齢：24-29歳)
- 「JASSOの奨学金を受けられず、留学先を韓国へ変更するための費用が発生しました。」 (国籍：United Kingdom、待機期間：between 3 to 6 months、年齢：18-23歳)

2021年1月「コロナ禍の日本留学の扉を開く会」アンケート調査より

要望事項

- 1, 新規入国受入人数枠の増枠及び日本語教育機関の待機留学生の受入人数枠の創設
- 2, 待機留学生（令和4年4月期生以降も含む）への支援
- 3, 日本語教育機関への支援
- 4, 「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育施設の認定等に関する法律案」の早期成立